



うばやま

No.10

令和7年9月11日
校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/kashiwai-sho>

「本が好き」「読書って楽しい」と思える環境に！

読書する子は学力が高い、と言われることがあります。文科省の報告書にも、「どの科目のどの学力層においても、読書好きの児童生徒ほど正答率が高い」、あるいは「親の年収が学歴に関係なく、学力の高い児童の特徴は、家庭で読書や読み聞かせの習慣があること」と記されています。つまり、教科の学力と読書には強い関係がありそうです。ただ、必ずしも「読書をしているから児童生徒の学力が高い（因果関係）」のではなく、あくまでも「学力の高い児童生徒が読書をしている（相関関係）」にすぎないのかもしれないという面も知っておくことは必要かもしれません。

それでも、やっぱり本を読んでほしいと親は考えます。こうした時、本を読まない子供に対して、無理の本を読ませようとしたり、親の決めた本を与えたり、内容や感想を無理に聞こうとしたりしてしまうことがあります。もしかすると、子供の選んだ本を否定するといったことがないとも言い切れません。こうした行為はNG。ではどうしたらよいのか。子供が本に興味を示すための工夫5項目を見つけました。

①図書館や本屋と一緒に足を運び、そこが楽しい空間になるようにする

②映画・アニメの本を入り口にして、本に触れることから始めてみる

③保護者が本を楽しむ姿を見せる

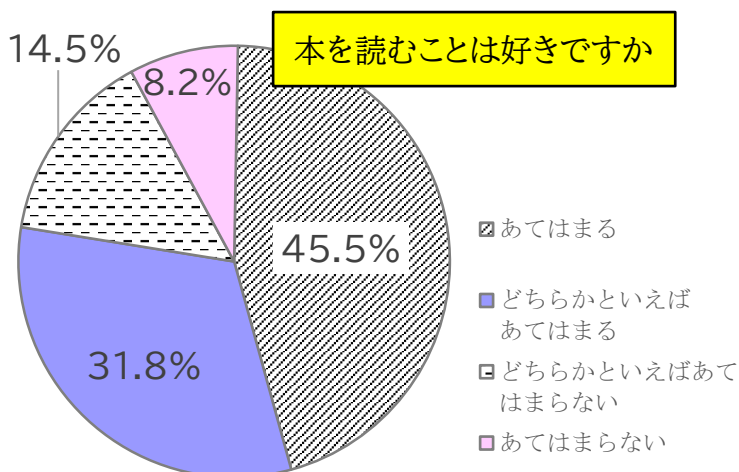
④「わからない言葉があったらいつでも聞いてね」と声をかける

⑤家の色々な場所に様々なジャンルの本を置いて、子供が本に触れやすい環境をつくる



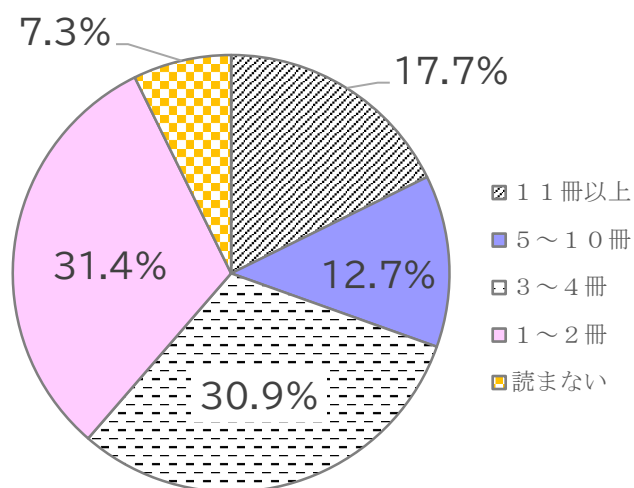
柏井小でも、2つの図書室の充実・授業での活用の拡大を目指すとともに、校長室前も不定期でテーマをもって本の紹介&試し読みができるような場にしています。夏休み、読書感想文に取り組んだ子がいますが、今後も「親子で読書」の時間を設けるだけで、話が弾むかもしれません。

ここで、5～6月に3年生以上を対象に、読書傾向の調査した結果を見てみることにします。目の前の子供たちの様子を知ること、何らかのヒントが見えてくるのではないのでしょうか。

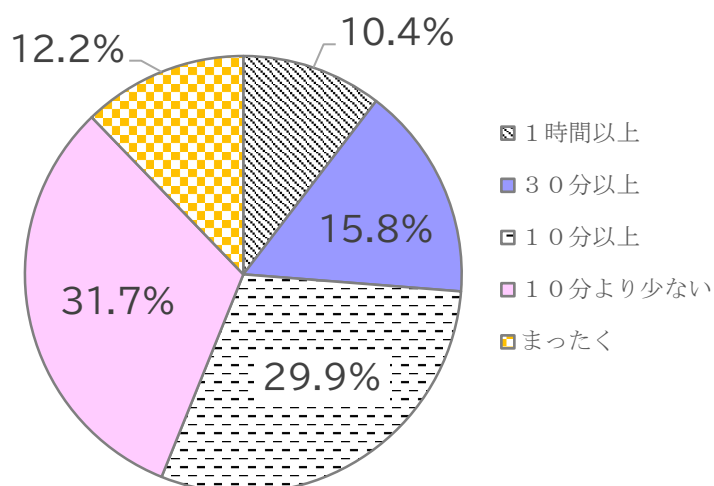


3・4年生においては、「あてはまる」と回答した児童が5割を超えますが、学年が進行するにしたがって、1割ずつ減少する傾向にあります。

「あてはまらない」と回答した4年生は0人。それ以外の学年では1割程度（6人前後）います。こうした児童を掘り上げるためにも、環境を耕す必要性を感じます。そういう私自身も、あまり読書好きではありませんでしたから…。



授業以外で読んだ本の数



授業以外での一日の読書時間

上の2つのグラフで注目したいのは、ともに「読まない」「まったくない」と回答した割合です。「1か月で読んだ本(雑誌を除く)の数」を220人中16人が0冊と回答し、「一日の読書時間」に関しては、27人が読書していないと答えているのです。



本から遠ざかった分、ゲームやインターネット等の利用時間が年々増加しているといえます。でも、これからの多感な時期に、貴重な読書体験を得られないということは、もしかしたら人生における大きな損失なのかもしれません。読書を通じて培われる豊かな語彙力や表現力、想像力、あるいは疑似体験は、おそらく論理的思考の源泉になりうるものだと考えます。「AIがあるから大丈夫」と安易に考える児童がいるかもしれませんが、果たして使いこなすことができるのか疑問です。

もう一つ、6月に5・6年生に行った学校評価アンケートに、「本を読むことや読み聞かせ（語り聞かせ）は好きですか」という質問項目があります。その結果は、下のとおりです。

評価項目	4	3	2	1
本を読むことや読み聞かせ（語り聞かせ）は好きですか。	42.4%	35.9%	12.0%	9.8%

最初のグラフ同様、「あまり思わない」「思わない」という、2割を超える児童の心を揺さぶる手立てを考えることが課題になります。家庭と学校とが同じ方向性のもと取り組むことで、12月のアンケート結果に少なからず反映されるだろうと期待します。



遠藤 栄養士

産休の高橋栄養教諭に代わって8月下旬から務めています。美味しい給食をめざします。

ゲーム・ネット依存 ～熱中するこどもの気持ち～

ゲームやネットに熱中する子供の気持ちやゲーム依存に対する保護者の対応などについて、無料講演会（市川市子ども家庭相談課主催）が開催されます。関心がある方にとってよい機会になるかもしれません。

- 日時 令和7年11月7日(金) 14:00～16:00
- 場所 メディアパーク 2階・グリーンスタジオ（定員 100 名）
- 講師 八木眞佐彦 氏（周愛巣鴨クリニック 相談支援・家族教室担当）
- 申込 オンライン <https://logoform.jp/f/16C5i> 11/5 まで

